

お知らせ・会務報告

日本甲虫学会第7回大会ご案内（第2報）

最新情報は随時、大会ホームページ <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/taikai/taikai2016.html> に掲載しますので、お確かめください。

大会概要

会期：2016年11月26日（土）～27日（日）

会場：大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23.

入口：大会参加者は、一般入館口ではなく、南側の通用口から出入りしてください（図1）。

最寄り駅は大阪市営地下鉄御堂筋線・JR阪和線「長居」。車での参加を希望される場合は、会場担当（初宿）までご相談ください。

大会会長：林 靖彦

実行委員会・事務局長：澤田義弘

大会事務局：大阪市立自然史博物館（担当：初宿成彦）

大会日程（時間や会場は変更になることがあります）

- ・ 1日目：11月26日（土）
 - 9:30～ 大会受付開始
 - 10:00～12:00 評議員会（新実習室J）
 - 13:00～14:45 公開講演会「関西甲虫研究史」（講堂L）
 - 15:00～16:15 研究発表（口頭）1（講堂L）
 - 16:30～17:45 総会・学会賞授与式・受賞講演（講堂L）
 - 18:00～20:00 懇親会
- ・ 2日目：11月27日（日）
 - 9:30～11:00 甲虫標本同定会・ポスター研究発表（ネイチャーホールN [公開]）
 - 11:00～12:00 研究発表（口頭）2（講堂L）
 - 13:00～15:00 研究発表（口頭）3（講堂L）

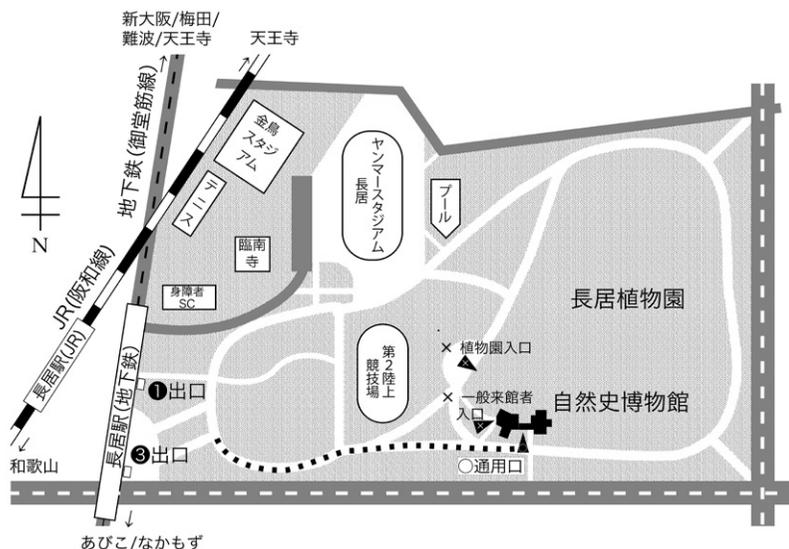


図1. 長居公園地図。大会参加者は一般入館口ではなく、通用口から出入りしてください。

15:10～16:10 分科会・前半（雑甲虫講堂L, カミキリ:集会室S, ゴミムシ:会議室K）
 16:20～17:20 分科会・後半（水生甲虫L, ゴウムシS, ハネカクシK）

大会，懇親会参加申込

以下の内容をお知らせの上，甲虫学会大阪大会ホームページ（<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/taikai/taikai2016.html>）よりお申し込みください。10月1日（土）以降にお申し込みが到着した方については，要旨集の名簿へのお名前の掲載は，可能な限り対応します。

- 1) お名前（漢字とよみ・ローマ字）
- 2) 一般・学生の別
- 3) 所属またはご在住の都道府県名か市町村名
- 4) 対象分類群（同定会担当可能分類群とします），同定会講師可否
- 5) 連絡先住所
- 6) 連絡先電話番号
- 7) メールアドレス
- 8) 懇親会参加の有無（同伴者がいる場合は担当へご相談ください）

参加費

大会参加費（10月1日以降のお申込みの方）：一般 3,000 円，学生 2,000 円，高校生以下は無料（ただし要旨集・入館料など実費を徴収します）。

懇親会費（10月1日以降のお申込みの方）：一般 6,000 円，学生 5,000 円（*社会人学生は一般とします）。

※参加費・懇親会費は会場受付にて申し受けます。9月30日以前の早期申込をされた方は，お知らせしたように，参加費・懇親会とも 1,000 円ずつ，受付にて割引いたします。

公開講演会「関西甲虫研究史」

近畿甲虫同好会の創立初期から関わった澤田高平氏，関西甲虫談話会を現在も運営する水野弘造氏らによる，講演や討論を行います。関西での甲虫研究を振り返り，若手育成など，将来への課題を探ります。50名定員の一般参加枠は，事前申込制にて受け付けますが，甲虫学会会員で大会参加の方は，改めて申込みをする必要はありません。11月26日（土）13:00～14:45，講堂Lにて。

大会開催・記念展示「関西甲虫研究史」

公開講演会の内容に即した展示を行います（月曜休館）（図2・3）。大会1日目（11月26日）から1月31日（火）まで，本館イベントスペースEにて，



図2. ジョージ・ルイス氏。茶の貿易商として来日した英国人。日本各地で甲虫類を採集し，自ら多数の新種発表を行ったほか，ヨーロッパの研究者らに標本を提供した。



図3. 宝塚昆虫館での展示標本。1939年から1968年まで，兵庫県宝塚市にあった昆虫専門施設。漫画家の手塚治虫氏が少年時代に，足しげく通っていたことで知られる。

研究発表者・分科会世話人への連絡

- ・口頭発表は質疑含めて15分です。発表会場のパソコンはOSがWindows10、ソフトはPowerPoint2010です(第1報と変更になりました)。ご持参のパソコンやスマホも使用可とします。MacやHDMI経由の場合は各自の対応アダプタを必ず持参してください。ポスターは幅90cm×高さ180cmのスペースを用意いたしますので、それに収まるよう作成してください。1日目朝から貼付可能ですが、2日目午前のセッションの時間帯は必ず貼っておくようにしてください。郵送による事務局(会場担当)の代理貼付も受け付けます。
- ・分科会は2部制にしているため、時間厳守をお願いします。プロジェクターは事務局で準備しますが、講堂L(雑甲虫、水生甲虫を予定)以外はパソコンがありませんので、各世話人で準備するか、事務局にご相談ください。

その他

- ・学会刊行物の無料配布：旧学会を含めた刊行物について、余部の多い巻号を無料配布します。ご入用の巻号を確認して会場へおいでください。
- ・一般公開「甲虫標本同定会」(2日目午前)：一般公開にしてネイチャーホールにて開催しますので、甲虫学の後進育成に鑑み、大会参加のみなさまには広くご協力をお願いいたします。
- ・昼食：館内に軽食コーナーが、周辺にファーストフード店が少しありますが、混雑することが予想されますので、昼食の持参をお勧めします。休憩室1~3でお取りください。

各種申込先

郵便およびFAX：〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史博物館気付 甲虫学会大阪大会事務局(各担当)あて ファクス：06-6697-6225

電子メール：

- ・実行委員会事務局長：澤田義弘 E-mail: sawada-f@gol.com
- ・参加受付担当：安井通宏・奥田好秀 E-mail: admission@kochugakkai.sakura.ne.jp
- ・研究発表担当：安藤清志・山内健生・澤田義弘 E-mail: presentation@kochugakkai.sakura.ne.jp (第1報でのアドレスに誤りがあります)
- ・分科会担当：谷角素彦・初宿成彦 E-mail: subcommittee@kochugakkai.sakura.ne.jp
- ・会場事務局担当(大阪市立自然史博物館)：初宿成彦 E-mail: shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

高桑正敏会員逝去

当学会の前身の一つである日本鞘月19日には友人らが集まり「お別れの会」が催行された。追悼行事等については改めて学会ホームページ等でお知らせする。

高桑会員の当学会の運営、発展に対する多大なご尽力に篤く感謝し、最大の敬意を表するとともに、甲虫を愛してやまなかつた故人のご冥福を心からお祈りする。

(日本甲虫学会会長 野村周平)

東京例会開催のお知らせ

2016年第3回例会を下記の通り開催致します。奮ってご参加ください。

日時 12月3日(土曜日) 10:00～16:30

場所 国立科学博物館附属自然教育園講義室
(正門を入れて右手の建物)
〔交通〕 JR山手線「目黒」駅東口より目黒
通り徒歩7分。または、東京メトロ南北
線/都営三田線「白金台」駅出口1より目
黒通り徒歩4分。



当日の企画

1 談話会：10:00～13:00

自由な歓談の時間として会場を開放いたします。ミニ同定会や蘇虫会(自分にはさほど必要ない虫を必要とされる方に譲る会)など、内容には特に制約がありませんので、お気軽にご参加ください。

2 話題提供：14:00～

赤嶺真由美：「ダイコクコガネ属の巣内行動における謎」

ダイコクコガネ属の雄は漆黒のボディに巨大な角を発達させており、その姿は多くの甲虫ファンを魅了してやみません。また、雌もその造巣行動において大変ユニークな特徴をもちます。これらの特徴は、行動生態学的にも興味深いものです。本発表では、演者が過去の研究でゴホンダイコクコガネを用いて明らかにした、ダイコクコガネ属の雄の角の形態の特徴や、雄の角形態と巣内滞在行動あるいは季節的出現との関係、野外での雄の巣内滞在の実情についての話題を中心に話ししていただき、現在おこなっている雌のユニークな造巣行動の研究でわかってきたことについても紹介していただきます。

3 一人一話：13:00～14:00 および講演終了後

午後1時から講演終了後の2回に分けて行います。

4 忘年会：当日の17時30分頃より、予定しております(会場未定)。事前にお申し込みください。申し込まれた方には、後日、会場案内等をお知らせします。

(東京例会運営幹事 高橋和弘 〒259-1217 平塚市長持 239-11 E-mail: kazu5@mg.scn-net.ne.jp)

昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他, 採集, 製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社

◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

大阪年末例会開催のお知らせ

2016年度第3回大阪例会を下記の通り開催いたします。皆様、多数ご参加ください。

日時：2016年12月10日（土）10時～16時40分

場所：大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区長居公園1-23）Tel. 06-6697-6221

HP: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> 通用門よりお入りください。

プログラム：

10:00～12:00	自由懇談・同定会、大阪例会運営幹事会
12:00～13:00	昼食、休憩
13:00～13:30	会務報告会・例会事務連絡
13:30～15:30	講演会
15:30～16:40	「一人一話会」を予定
17:30～19:30	懇親会（場所：アサヒビアケラー・アベノ）（予定） 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36 Tel. 06-6641-6282

懇親会会費：5,000円（飲み放題を予定）

演者：福富宏和氏（石川県立ふれあい昆虫館職員）

演題：「日本産タマムシ科について」

要旨：演者は、2013年に「日本産タマムシ大図鑑」として日本産のタマムシ科甲虫を219種（プラス42亜種）としてまとめた。その後、いくつかの新種や新知見が報告されており、まだまだ未知の事例が多くある。また、高所に生息することが知られているタマムシの採集法を紹介し、近年記録がない種などについても議論したい。今回の講演では、日本産タマムシ大図鑑発行後のタマムシ科甲虫の分類の変遷や、同定が難しいとされるナガタマムシ属の分類形質や現在の課題、タマムシの魅力について伝えたいと考えている。

例会・懇親会の事前の参加申し込みは不要です。当日、例会参加者はお茶代・資料代として200円を徴収いたします。懇親会は当日受け付けます。

（大阪例会運営幹事 澤田義弘 E-mail: sawada-f@gol.com）

自然保護委員会報告

1) 与那国島の自衛隊基地配備に関わる環境保全対策の現状について

与那国島の自衛隊基地は関連主要施設が竣工し、環境保全対策も最終段階を迎えた。苅部・北野両自然保護委員の尽力で整備を進めてきた2つの代替池では現在までに希少種9種を含む68種の水生昆虫の定着が確認されており、順調な成果が上がっている。8月7日には代替池を利用した地元住民への啓発活動として、「ビオトープ昆虫学習会」が開催され、子供達を含む多数の地元住民の参加があった。また、自衛隊関係者への啓発活動の一貫として、駐屯地内に代替池の整備を始めとする環境保全対策の概要を記した案内板が設置されることになった。11月中旬には自衛隊関係者を対象とした与那国島の希少昆虫とその保全に関する学習会も実施され、苅部・北野・荒谷の自然保護委員が講師として参加する予定である。

2) やんばる国立公園の指定について

「奄美・琉球」の世界自然遺産登録を睨み、沖縄本島北部の国頭、東、大宜味3村にまたがる陸域と海域約17,300ヘクタール（陸域約13,600ヘクタール、海域約3,700ヘクタール）が2016年9月15日「やんばる国立公園」として正式に指定された。完全な新規での国立公園指定は2014年の慶良間諸島国立公園以来で、33カ所目となる。

「やんばる国立公園」では、脊梁山脈地域を中心に点在する特別保護地域を繋ぐ形で第1種特別地域が指定され、

山麓部に第2, 3種特別地域が広がっている(ただし米軍北部演習場を除く)。指定区域の詳細に関しては下記の環境省HPにて「やんばる国立公園の区域図」を確認いただきたい。(http://www.env.go.jp/press/102972.html)

公園の核心部である特別保護地域では昆虫を含む動植物の採取はもちろん、落葉や落枝の採取や木竹の損傷も厳に規制されている(自然公園法第21条第3項)。また、特別保護地域より規制が緩い第1~3種特別地域であっても、生息地の破壊を伴う採集や景観を著しく損ねるトラップの設置などは、木竹の伐採や工作物の新築(改築, 増築を含む)に関する規制(自然公園法第20条第3項)に抵触する可能性がある。今後、学会員の皆様におかれては、沖縄北部で調査・採集を実施される場合には、これらのことを念頭に良識とマナーを守り、トラブルを起こさないよう十分にご配慮いただきたい。

なお、本国立公園について不明な点は「環境省やんばる野生生物保護センター(TEL: 0980-50-1025)」までお問い合わせ願いたい。

3) 国頭村営林道の夜間通行規制について

希少動植物の採取や、ゴミの不法投棄を目的とする車両の夜間林道通行による小動物のロードキル(轢死)が増加していることを問題視した国頭村では、9月1日より希少動物保護のために同村営林道全線の夜間通行止(通年)を開始した。該当する林道は以下の通りである。

浜Ⅰ号線, 浜Ⅱ号線, 奥間線, 与那線, 謝敷線, 辺野喜1号線, 辺野喜2号線, 宜名真線, チヌフク線, 尾西線, 安波線

上記の林道では通行禁止区間の始点と終点の林道脇に看板が設置されており、夜間の通行にあたってはあらかじめ国頭村長の許可を受けなければならない。詳細は下記の国頭村役場経済課のHPをご覧ください。なお、夜間林道通行許可申請書の様式も同HPからダウンロードできる。

http://www.vill.kunigami.okinawa.jp/category/k_keizai/

今後、国頭村で調査・採集を実施される学会員の皆様におかれては、夜間林道通行規制に十分にご留意いただきたい。

(自然保護委員会)

定期購読のご案内

月刊むし

B5判, 56~80頁 毎月20日発売
定価1260円(送料100円)

「月刊むし」は、1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で、30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>



547号 (2016年9月号)

- セダココバヤハズカミキリ探索記(4) 再び中国山地にての修行(後編)
- 里山の歴史を探る(6)
- 伊豆諸島新島産マイマイカブリの起源
- 佐賀県玄界灘沿岸のヤマトマダラバッタとマダラバッタの生息状況
- 秋田県におけるウラギンシジミの採集例と越冬観察例
- 上越山系のベニヒカゲ(2)~谷川連峰~
- ゴミムシシダマシ科数種の生態について

昆虫用品は

むし社

検索

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか、定期予約購読も行っております。定期予約の場合、送料は無料で、次のように誌代も割引となりますので、ぜひご利用下さい。

6ヶ月 予約 定価 7560円 → 7300円
12ヶ月 予約 定価 15120円 → 14600円
24ヶ月 予約 定価 30240円 → 29200円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ、下記の口座あてにご送金ください。

郵便振替口座 00160-5-159262 むし社
新規お申し込みは、当月発売分よりとさせていただきます。



月刊むし・昆虫図説シリーズ 6

世界のカブトムシ

【上】南北アメリカ大陸編

- ヘラクレスオオカブトは10頁のカラープレートで変異を細かく紹介。
- 同定の難しいタテツノカブト属は30種のうち27種を図示。

著者: 清水輝彦

A4判124頁(48カラー頁)

定価 8,424円 [送料サービス]

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209

Tel. 03-3383-1461~1462

Fax. 03-3383-1467

目 次

■解説

保科英人：日本産ヒゲトチビシデムシ類要説(III) ... 1	
保科英人：地方新聞による世論形成から見た希少水生甲虫類保全事情 29	
吉武 啓：甲虫コレクションガイド6 農研機構 農業環境変動研究センター・昆虫標本館の甲虫コレクション 34	

■論文

保科英人：伊豆諸島八丈島から採集された土壌性小型甲虫類 6	
加古直忠・小川道博・脇本 浩・岸本 武・西本 孝：絶滅危惧種フサヒゲルリカミキリの生活史，とくに野焼きと蛹化の関係について 8	
渡部晃平・富沢 章・稲畑憲昭：本州におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録 15	
鈴木 互：与那国島で採集されたヒメナガコメツキについて 18	
有本晃一：壱岐のコメツキムシ科とコメツキダマシ科 21	
鈴木 互：対馬産のネキクロコメツキについて ... 25	
亀澤 洋：伊豆諸島からのアリモドキ科の記録 ... 40	

■短報

吉武 啓・高野 勉：茨城県におけるヨツボシカミキリの最近の採集例 7	
吉富博之：福岡県大牟田市でヨツモンカメノコハムシを確認 16	
韓 昌道：東京都小平市でトウキョウトラカミキリを採集 17	
伊藤建夫・杉本真次：ナカネメダカオオキバハネカク	

シ大阪府から初記録 20	
有本晃一：海浜性コメツキムシ2種の対照的な活動性 23	
村上大介：滋賀県におけるヒメコガシラミズムシの採集記録 27	
鈴木 互：クシヒゲクロツツコメツキの雄の記録... 27	
藤本博文：香川県のマメクワガタの記録..... 28	
須田 亨：タイワンアトボシアオゴミムシ幼虫の採集記録と生態等について 33	
亀澤 洋：御蔵島からのキスイムシ科の記録..... 42	
楠井善久：水納島（宮古諸島）におけるコメツキムシ科2種の記録 43	
渡部晃平・稲畑憲昭：石川県におけるヒメドロムシ科3種の初記録 44	
神田雅治・岩田泰幸：埼玉県におけるヒメドロムシ科2種の記録 45	
吉武 啓・細谷忠嗣・山田隆三：“フェリーとしま”の船内で採集されたカブトムシ 47	
楠井善久：宮古諸島水納島におけるヤマトスナゴミムシダマシの記録と若干の生態観察 48	
柏崎 昭：北海道初記録の甲虫3種 49	
榎原 寛・吉武 啓：薩摩黒島からのトガリシロオビサビカミキリの記録 50	
田中 稔：マグソコガネ亜科4種の分布について ... 51	

■お知らせ・会務報告

訂 正..... 46	
日本甲虫学会第7回大会ご案内（第2報） 52	
高桑正敏会員逝去..... 54	
東京例会開催のお知らせ 55	
大阪年末例会開催のお知らせ 56	
自然保護委員会報告 56	

さやばね ニューシリーズ 第23号

発行日 2016年9月30日
 次号は2016年12月下旬発行予定
 発行者 野村周平
 編集者 吉富博之（委員長），大林延夫，谷角素彦，小島弘昭，奥島雄一，中峰 空，震島悠介
 発行所 日本甲虫学会
 〒305-0005 つくば市天久保4-1-1
 国立科学博物館動物研究部
 電話 03-3364-2311

原稿送付先（さやばねニューシリーズ）
 〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7
 愛媛大学農学部環境昆虫学研究室 吉富博之
 電子メール：hymushi@agr.ehime-u.ac.jp
 印刷所 原印刷株式会社
 年会費 一般会員 8,000円（前納制）
 学生会員 5,000円（前納制）
 郵便振替口座番号 00880-2-190472
 ホームページ <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>